

## 脳梗塞後の麻痺 続命湯など処方

**Q** 六十九歳の夫のことですが、三年前に脳梗塞（こうそく）で倒れ右側の手足が不自由になりました。初めはリハビリで少しずつよくなり、不自由ながら歩くこともできました。ところが昨年再び

脳梗塞を起こして以来、リハビリの「意欲」が全くなくなりほとんど寝たきりの状態になりました。今月、床ずれが出始め驚いております。意欲のでる漢方薬や床ずれによい漢方薬はありますか。

**A** 高齢化社会になって脳梗塞後の麻痺（まひ）やしびれ、脳の機能低下で悩んでいる人は非常に増えている。脳梗塞や脳出血後の初期によく用いられる漢方薬は続命湯（ぞくめいとう）である。まさに命を続けるための処方で、今日でも初期の麻痺やしびれに使われる。出血後しば

らくたつたものには小続命湯（しょうぞくめいとう）や疎経活血湯（そけいかくけつとう）、八味地黄丸（はちみじおうがん）などが使用される。

脳梗塞後の意欲低下には釣藤散（ちようとうさん）や黄耆建中湯（おうぎけんちゆうとう）、補陽還五湯（ほようかんごとう）などの処方が使われる。床ずれには塗り薬の紫雲膏（しうんこう）が抜群の効果がある。

漢方薬には循環をよくするものが多い。今後、健康診断時に磁気共鳴画像装置（MRI）を使った検査などで無症状の微小な梗塞がみつかったら、大きくならないよう早めに桂枝茯苓丸（けいしぶくりようがん）など漢方の循環改善薬の服用をお勧めしたい。